

わかやま 県議会 だより No.22

平成25年[2013]
11月10日発行(年4回発行)



わかやま
ing
和歌山の現在進行形

関西大環状道路を形成する京奈和自動車道
紀北かつらぎICから紀の川ICまでが平成25年度中、紀の川ICから阪和自動車道までは、平成27年「紀の国わかやま国体」「紀の国わかやま大会」を目標に事業を促進しています。

9月定例会号

主な記事

2～3面 平成25年9月定例会の概要

4面 議会活動の紹介
県議会からのお知らせ

経済警察委員会

経済警察委員会では、9月24日に県内2カ所の調査を行いました。

鑑識科学センターでは、最新の科学技術を駆使した捜査の現状について、実際の分析機器や分析手法などの概要を調査するとともに、意見交換では、より高度で迅速・正確な科学捜査実現のためには人員と施設のさらなる増強が必要であることを確認し、それに向けた取組を要望しました。

交通管制センターでは、多数のカメラや感知器で常に交通の現況を把握して臨機応変に交通の流れを制御している現場を目の当たりにしました。交通安全の確保に同センターが重要な役割を担っていることを改めて認識するとともに、既に設置されている多数のカメラからの情報を活用し、今後とも迅速・的確な交通管制が行われるよう要望しました。



鑑識科学センター



交通管制センター

常任委員会

活動リポート

6つの常任委員会のうち、今回3つの委員会の活動を紹介します！

農林水産委員会

農林水産委員会では、9月24日に県内3カ所の調査を行いました。

(株)恋野マッシュルーム(橋本市)では、設立の経緯、マッシュルームの生産・製品加工、出荷・販売、マッシュルーム栽培舎などについて、似賀尾池(橋本市)では中山間総合農地防災事業の似賀尾池改修工事の整備状況について、高病原性鳥インフルエンザ埋却地(紀の川市)では、これまでの経過、埋却地の状況、試掘調査、今後の方針等について調査を行いました。

各調査先では、関係者から概要説明を受けるとともに意見交換を行いました。

委員会としては、今回の調査で得た貴重な情報をもとに本県農林水産業の一層の発展に取り組んでいきます。



(株)恋野マッシュルーム



建設委員会

建設委員会では、7月27日から28日にかけて県内調査を行いました。

今回の調査では、南海本線と和歌山大学前駅周辺地域の整備事業、第二阪和国道及び都市計画道路路西脇山口線の整備状況、京奈和自動車道紀北東道路紀の川インターチェンジとかつらぎ西パーキングエリア・インターチェンジの整備状況、平成23年の台風12号により被害を受けた那智川流域における河川・橋梁等の復旧状況及び土砂災害対策事業の状況、国道311号道路災害からの復旧状況及び砂防事業の状況、近畿自動車道紀勢線すさみ西インターチェンジ(仮称)建設予定地、新宮港整備、秋葉山公園県民水泳場等について調査を行いました。

委員会としては、委員会活動を通して、将来の大規模災害発生に備えた防災・減災対策、地域の活性化と発展を図る道路ネットワーク等の社会資本整備に県当局とともに取り組んでいきます。



近畿自動車道紀勢線
すさみ西インターチェンジ(仮称)建設予定地



9月 定例会の概要

9月10日～9月27日までの18日間



会期中の主な動き

- 特別委員会の開催
 - 半島振興・交通・産業振興対策特別委員会 ……9/17
 - 東南海・南海地震等対策特別委員会 ……9/18
 - 行政改革・基本計画等に関する特別委員会 ……9/20
- 条例案検討会の開催
 - 中小企業振興に係る条例案検討会 ……9/10、26
- 特別委員会の設置
 - 決算特別委員会を設置し、委員を選任 ……9/27
- 関西広域連合議会議員の選挙 ……9/27

一般質問議員 16人

9月17日(火)	9月18日(水)	9月19日(木)	9月20日(金)
藤山 将材	浦口 高典	藤本 眞利子	尾崎 太郎
中 拓哉	雑賀 光夫	向井 嘉久藏	松坂 英樹
奥村 規子	森 礼子	前芝 雅嗣	角田 秀樹
立谷 誠一	中村 裕一	吉井 和視	門 三佐博

議案等の議決結果

項目	件数	概要	結果
予算案件(知事提出)	1件	平成25年度和歌山県一般会計補正予算	可決
条例案件(//)	16件	知事等の給料の特例に関する条例の一部を改正する条例等	可決
決算案件(//)	2件	平成24年度和歌山県歳入歳出決算の認定について等	継続審査
人事案件(//)	9件	和歌山県教育委員会の委員の任命につき同意を求めるについて等	同意
その他案件(//)	11件	平成25年度建設事業施行に伴う市町村負担金について等	可決
諮問(//)	1件	退職手当の支給制限に対する審査請求に関する諮問について	知事の裁決書(案)は適当と認める
請願	2件	天王塚古墳と大谷山22号墳を特別史跡に含めるための請願 消費増税に伴う農産物等への軽減税率の適用に関する請願	採択
意見書	8件	消費増税に伴う農作物等への軽減税率の適用に関する意見書 近畿自動車道紀勢線の紀伊半島一周と南紀田辺までの4車線化の早期実現及び京奈和自動車道の整備促進を求める意見書 大規模地震等災害対策の促進を求める意見書 アルコール健康障害対策基本法(仮称)の制定を求める意見書 ホテル・旅館等建物の耐震化の促進に関する意見書 戦没者等の遺族に対する処遇改善を求める意見書 国民皆保険制度の堅持に関する意見書 4月からの消費増税の中止を求める意見書	可決 否決

主な質問とこれに対する知事や関係当局の答弁は、次のとおりです。(要約)

防災

耐震診断義務化施設に対する支援

問 耐震改修促進法の改正に伴い耐震診断を義務化された施設に対し、補助金以外に他の支援策はないのか。

答 耐震診断が義務化された施設のうち、避難所に位置づけられる施設や災害時に避難弱者が存在する施設は、緊急に安全性を高めていく必要があり、国の耐震対策緊急促進事業を活用しながら支援していきます。事業者負担については、国・県の補助制度だけでなく、県融資制度の安全安心推進資金を最優遇に拡充するとともに、耐震相談窓口を設置し、個々の施設に適した耐震改修工法や総合的な観点からコストダウンにつながる手法の情報提供など、技術的支援も行っていく予定です。

県とFM局との災害協定締結

問 災害発生時に、県下4つのFM局で、被災したFM局に対し人や資材の支援を協力する災害協力協定を締結したが、県とも締結をしてはどうか。

答 コミュニティFM局は、地域に密着した様々な情報を発信するといった機動性を十分持っている認識しています。県では、あらゆる広報手段を使って情報を伝達するよう、防災情報発信の多重化に取り組んでいるところであり、その一環としてコミュニティFM局との災害時における放送要請協定に向けて取り組んでいます。



国体

国体施設周辺の渋滞対策

問 国体用に立派な施設が整備されているが、進入路が粗末である。せめて、紀三井寺公園や秋葉山公園県民水泳場などのメイン会場では渋滞対策を講ずるべきではないのか。

答 国道42号から秋葉山公園県民水泳場へ進入する交差点の渋滞・安全対策については、公園施設の利用状況や周辺の交通量を精査した上で配慮を行っていきます。紀三井寺公園周辺の渋滞対策については、切実な問題として、公園から国道42号へ進入する車線数の増設などを検討し、交通渋滞の緩和に努めていきます。



秋葉山公園県民水泳場

行財政改革

指定管理者制度の検証

問 指定管理者制度導入後10年が経過したが、施設に依じて真に効果的かつ適切な運用がなされているか検証すべきではないのか。

答 平成15年の地方自治法の一部改正で制度が導入されてから今日まで52の施設で導入してきましたが、それぞれの施設では、指定期間満了前に実績や効果を検証し、これまで12施設で、民間譲渡、廃止または直営と見直しを行ってきました。今後、指定管理者制度の目的を踏まえ、引き続き適切に取り組んでいきます。

地方公会計の制度改革

問 地方公会計について、東京都のように民間企業方式に近く国際公会計基準に準じた制度を導入してはどうか。

答 東京都は、本県で採用している総務省方式改訂モデルよりも国際公会計基準に近いと言われています。総務省では、現在、国際公会計基準等を踏まえた標準的な基準を設定するため、有識者による研究会において検討がされています。県としては、独自に新たなシステムを導入した場合、他府県との比較も困難になることから、今後の動向を踏まえながら財務書類の作成、公表のあり方について迅速に対応していきます。

県体力開発センターの廃止

問 県体力開発センター設置及び管理条例の廃止が提案されているが、身近で誰もがスポーツに親しむための施設としてセンターは必要ではないのか。

答 県体力開発センターは廃止することとしています。誰もがスポーツに親しむための施設の必要性は十分認識しており、これまで当センターが担ってきた役割については、新しく機能が充実している秋葉山公園県民水泳場や県立体育館等で対応していきたいと思えます。

観光

友ヶ島を活用した観光振興

問 友ヶ島にある旧日本軍の砲台などが人気アニメの舞台に似ていると話題になり、今年4～8月の来訪者は前年の1.5倍となっている。フィルムコミッション活動などを強力に推進し、もっと有効活用してはどうか。

答 砲台や軍事施設跡が醸し出す「非日常の世界」の雰囲気やインターネットを通じてアニメ・ゲームファンに広がり、来訪者が増加しています。県としては、和歌山市や加太観光協会が取り組むアニメやゲームの登場人物の追体験など、友ヶ島の新たな楽しみ方の情報発信に協力していくとともに、修学旅行や映画・ドラマのロケ地誘致に取り組む、実績を重ねていきます。



県におけるおもてなし

問 観光振興においては、ソフト面での宿泊施設や県民の心のこもった「おもてなし」が一番重要であるが、どのように考えているのか。

答 おもてなしは、県で策定している観光振興アクションプログラムの大きな柱であり、様々な事業を実施していますが、今年度から新たに、県民一人ひとりが来訪者におもてなしの心で対応する「わかやまおもてなし宣言」を個人や団体等に募集し、おもてなしを宣言して実践していただく取組も展開しています。

広報・啓発

「原爆パネル」の活用

問 県が購入した「原爆パネル」は、年一回の人権フェスタで展示するだけでなく、広く貸し出したら、県民ロビーで「原爆写真展」を開くなどしてはどうか。

答 これまでも、多くの人が集まる「ふれあい人権フェスタ」でパネル展示を行ってきまして、今年度はパネルを一新し、県庁内の県民ロビーや渡り廊下等でのパネル展を開催するとともに、問合せやパネルの貸し出しを検討するなど、平和に対する県民の意識がより一層高まるように取り組んでいきます。

「わうくらす」

問 県動物愛護センターで実施している「わうくらす」は、動物愛護だけでなく、情操教育としていじめ問題等の解決にもつながると考えるが、もっと広くPRすべきではないのか。

答 県内の全ての小学校に直接や「わうくらす」の出張教室の利用案内を行うとともに、事業拡大のため、教育現場での講師育成のための講習会を開催するなど、普及のための人材確保を図っています。今後、教育委員会と連携しながら「わうくらす」の推進に努めていきます。

わうくらす…人と動物の命の心を通じる大切さを思いやる心を育むこと。児童に動物の習性、感染症等の生理・習性、学習の音等を聞いてもらう総合的な愛護教室。

解説



農林

林業活性化策

問 本県は県土の70%以上が森林という全国有数の森林県であるものの、公共事業における木材使用量が少ないが、今後の方針はどうか。

答 県では、昨年2月に県木材利用方針を策定し、県が整備する低層建築物は原則木造とし、公共土木工事も木材利用を推進するなど、紀州材の需要拡大に努めています。しかしながら、公共土木工事での利用が芳しくないことを反省し、現状を徹底的に分析した上で見直すべきところは見直し、林業の振興を図っていきます。



ミカン対策

問 ジュースやゼリーなどの加工食品の魅力を高めるため、どう取り組んでいくのか。良質な加工用果実の安定供給や、市場流通する生果の品質向上という点からも、生産から加工・販売を幅広く見通した政策強化が必要ではないのか。

答 本年度の新政策である6次産業化ネットワーク事業、農工商連携ファンド・中小企業元氣ファンド等の活用により高品質で特色あるミカンジュースやゼリーなどの開発を支援するとともに、技術的な面では工業技術センターが相談を行っているところです。厳選出荷による生果の市場価格の安定化と同時に、加工用果実の確保につながる仕組みづくりを引き続き検討してまいります。



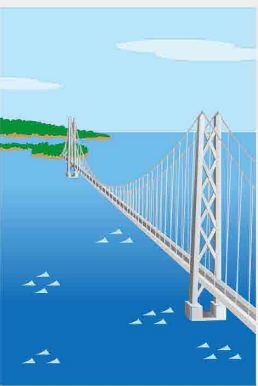
交通

紀淡海峡ルート 早期実現

問 西日本には国土軸が1つしかなく、防災面からも新国土軸の早期整備は重要な課題である。国で国土強靱化の議論が高まっている今、紀淡海峡ルート早期実現に向けて強力に取り組むべきではないのか。

答 巨大地震がどこで発生するかわからない中、多軸型の強靱な国土形成が求められてお

り、そのためには高速交通網の多重化が重要です。国土強靱化の議論が高まっているこのタイミングを逃さず、高速交通インフラの整備について、関係府県の力を結集し、紀淡海峡ルートの早期実現に向けて国に強く働きかけていきます。



教育

学区制に対する見解と方針

問 高校入試の実施状況を見ると、学力の高い生徒は和歌山市内の私立高校や人気のある県立高校に集中し、学校間格差をさらに拡大させているが、学区制に対する見解と今後の方針はどうか。

答 学区制については、第9期きのくに教育協議会の中でも、好きな学校が選べる、学区外の近隣地域に住む生徒が居住地に近い高校に行けるという意見のほか、行きたい学校から行ける学校への選択を余儀なくされているという意見もあります。



全県一区となり10年が経過し、生徒や保護者等の理解も進み、入試制度としても定着してきています。今後、募集定員や入学者選抜制度等の関連施策のあり方を含め、総合的に研究していきます。

産業

IT環境を利用した企業誘致

問 徳島県神山町では光ファイバー世帯普及率全国一を生かしてIT企業の誘致に成功しているが、ブロードバンドがかなり整備されている本県も、それを活用し、過疎地域への企業誘致に取り組んではどうか。

答 神山町への調査を実施し、それを参考に県内過疎地域の廃校を活用したきのくにサテライトオフィス事業を立ち上げ、これまで300社以上の企業訪問を行うとともに、業界団体等を通じて誘致活動を行っています。今後、庁内過疎対策関係課室や地元市町村との連携を密にして協力することにより、地域の特性に応じた誘致活動を積極的に展開してまいります。

健康

健康推進員の育成・配置

問 長野県では1万1000人の保健指導員が活躍しているが、本県で同様のボランティア活動を行う健康推進員は696名である。制度設計も含め、もっと人材を育成すべきではないのか。

答 生活習慣病の予防、健康づくりの推進のためには、運動や食生活の改善、検診の受診等が重要です。そのため、健康推進員制度を創設し、5年で2500人を目標に、各保健所で健康推進のリーダーを育成していきたく考えています。今後、その制度を活用し、ラジオ体操などの運動や健康教室等の周知、検診の呼びかけ等、身近できめ細かい取組を行っています。



議会活動の紹介 Topics

和歌山県中小企業振興条例の基本的内容を決定

8月に実施した条例のあらましについての県民意見募集では、計11件、16項目の貴重な御意見・御提言をいただきました。本当にありがとうございました。

その内訳としては、個人の方からのものが7件、団体からのものが4件であり、応募方法別では、電子メールが8通、ファックスが3通でした。また、内容としては、「目的」や「基本理念」、「県の責務」、「県民の理解と協力」など、多岐の項目にわたりました。

9月10日開催の第6回検討会では、県民意見募集でいただいた御意見・御提言の条例案への反映について活発な議論が行われ、9月26日の第7回検討会では、条例案の名称を「和歌山県中小企業振興条例案」に決定し、基本的な内容を固めました。

現在、12月定例会での条例制定に向けて、大詰めの準備を進めています。

なお、いただいた御意見・御提言の要旨とお返事については、県議会ホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。



関西広域連合議会8月定例会開催

関西広域連合議会8月定例会は構成団体持ち回りで開催しており、今年度は8月29日に本県議会の本会議場で開催されました。

本県議会からは、中村裕一議員、山下直也議員、多田純一議員の3名が出席しました。

また、本会議において、中村裕一議員が一般質問を行い、「広域交通インフラ」、「アジアの発展をいかに取り込むか」について質問しました。

とりわけ、広域交通インフラについては、広域インフラマップに掲載されている大阪橋本道路を初め、本県と大阪府を結ぶ幹線道路の整備について、関西広域連合としてどのように考えるかをたずねました。

本質問に対し、仁坂副連合長(和歌山県知事)から、府県間道路の一体的な整備が行われるよう各路線の進捗管理を共同して行い、関係府県市と連携して整備を推進するとともに、国にも働きかけを行い、広域交通インフラの整備に努めていきたいとの答弁がありました。

また、松井委員(大阪府知事)から、和歌山県と大阪府を結ぶ府県間道路については、京奈和自動車道へのアクセス機能や広域的な防災機能を担う重要な道路として認識している、厳しい財政状況ではあるが、関西圏の重要な交通ネットワークとして、府県間で一体的な整備を可能とする仕組みづくりとあわせ、着実な整備に取り組んでいくとの答弁がありました。

なお、翌日の8月30日には、17名の関西広域連合議会議員の参加のもと、「稲むらの火の館」、「湯浅町伝統的建造物群保存地区」において、防災及び地域振興施策への取組等を調査しました。今回の調査は、本県はもとより、今後の関西広域連合議会活動の一助となるとともに、本県における施策のPRとなりました。



県議会からのお知らせ Information



テレビ・ラジオ放送

定例会の質問と答弁の様子や委員会の審議状況、議案の審議結果などをお知らせしています。

テレビ テレビ和歌山(WTV)

県議会だより 開会、質問、閉会日の22時30分から25分間放送
(12月定例会の放送予定 12/3、10～13、19)

県議会手話だより 閉会日の約1週間後に、22時30分から30分間放送

ラジオ 和歌山放送(WBS)

定例県議会ダイジェスト 開会、質問、閉会日の22時から15～30分間放送
(12月定例会の放送予定 12/3、10～13、19)



県議会ホームページ

和歌山県議会

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/200100/www/>

● 県議会のしくみや主な動き、議員紹介、議会日程、質問項目、本会議録など、様々な情報を掲載しています。

● 議会開会中は、質問など本会議場での模様を生中継しています。また、この中継録画やテレビ広報番組の録画を見ることができます。



「点字版・テープ版」の案内

本紙の点字版・テープ版(ボランティアの方による朗読)を作成しています。



傍聴してみませんか

- 本会議は、申込みなしで傍聴できます。
- 委員会の傍聴は、事前の申込みが必要です。

平成25年12月定例会 会期日程(予定)

本会議	12月 3日(火)
本会議(質問)	12月10日(火)～13日(金)
常任委員会	12月16日(月)・17日(火)
本会議	12月18日(水)・19日(木)

※この日程は予定ですので、変更されることがあります。傍聴を希望される方は、開催日時等をお確かめください。

虚礼廃止にご理解・ご協力を!

県議会では、虚礼を廃止した議員活動を行っています。

- 冠婚葬祭、慶事、見舞い及び各種行事等における寄附行為の禁止(本人が出席する結婚式の祝儀、香典等は除く)
- あいさつ状の禁止
- 議員名、議員団名及び会派名による年賀・暑中見舞い等の各種広告の禁止
- 中元や歳暮の贈答はしない
- お祝い・おくやみ電報等は出さない(親戚・友人は除く)

